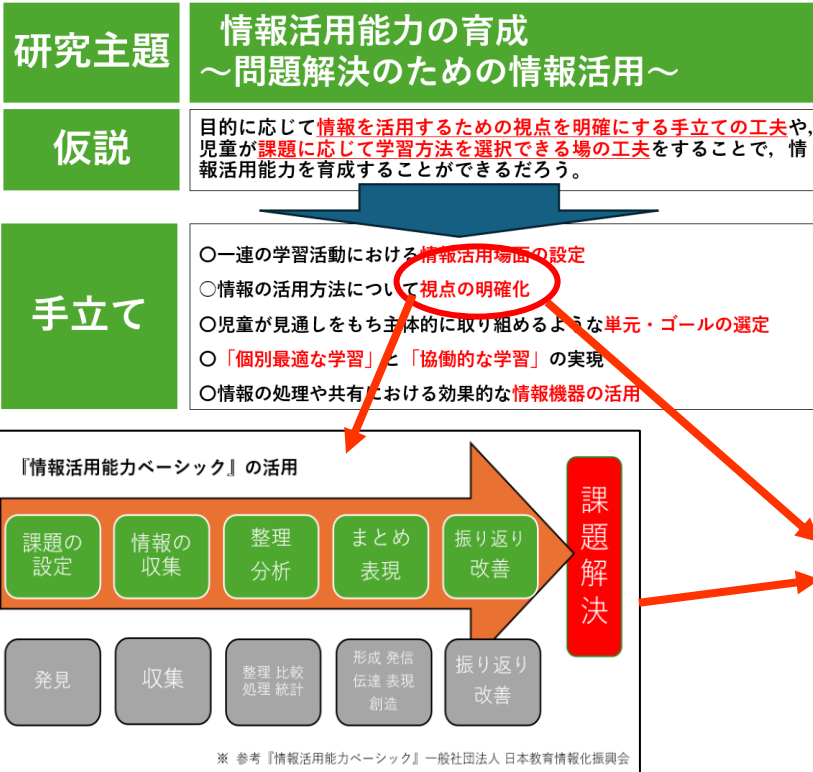


リーディングDXスクール事業【実践事例】

成田市立加良部小学校（千葉県）【指定校】

【取組内容】 情報活用能力の視点の明確化

令和6年度 加良部小学校 研究主題と仮説



「情報活用能力の育成」を研究主題とし、どのように情報活用能力を育成するか、視点を明確にする手立ての工夫に取り組んだ。

授業者は『情報活用能力ベーシック』をもとにどのような能力を育成するのかという視点を明確にした上で授業を行うことで、児童の情報活用能力を向上させることができた。

【例：1年国語科】

7 本時の指導

(1) 評価規準

・お気に入りの本を読んで感じたことを動画に撮影し、紹介することができる。

〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)カ

(2) 情報活用能力の観点

・本を紹介の様子をタブレットで撮影することで、自身の発表の様子を確かめ、改善点を見つけたり、よりよい発表へつなげたりすることができるようにする。(整理・分析)

(3) 展開

過程	次	学習内容と学習活動	指導・支援	〇評価	資料
【自分で取り組む】【広げ深める】 2 自分の課題に合わせて練習や撮影を行う。 ・原稿を確かめる。 ・個人で練習を行う。 ・友達と見合い、助言し合う。 ・教師からの助言を受ける。 ・友達と撮影を行う。					

【自分で取り組む】【広げ深める】

2 自分の課題に合わせて練習や撮影を行う。

- ・原稿を確かめる。
- ・個人で練習を行う。
- ・友達と見合い、助言し合う。
- ・教師からの助言を受ける。
- ・友達と撮影を行う。

- ・それぞれの学習進度を確認し、個に応じた声かけや支援を行う。
- 文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。
- ・本を紹介の様子をタブレットで撮影することで、自身の発表の様子を繰り返し整理・分析し、練習に生かすことができるようにさせる。

<仮説への手立て>

教師手本
(動画)
(発表原稿)

指導案の中で情報活用能力について取り上げ、特に本時の展開の中で具体的に身に付けさせたい能力や手立てについて明記したことが有効であった。